

② 桑名福祉ヴィレッジ開設に伴う旧清風園等の土地・建物について



令和7年12月24日

市議会全員協議会(報告事項)

1. 現状

【桑名福祉ヴィレッジ】

- ・令和4年4月の開設以来、様々な年齢層・背景が異なる利用者同士の多世代共生や、施設利用者と近隣住民との交流が行われるなど、着実に成果を発揮。
- ・地域共生社会の理念が形に。



1. 現状

【旧清風園・旧療育センター・山崎乳児保育所】

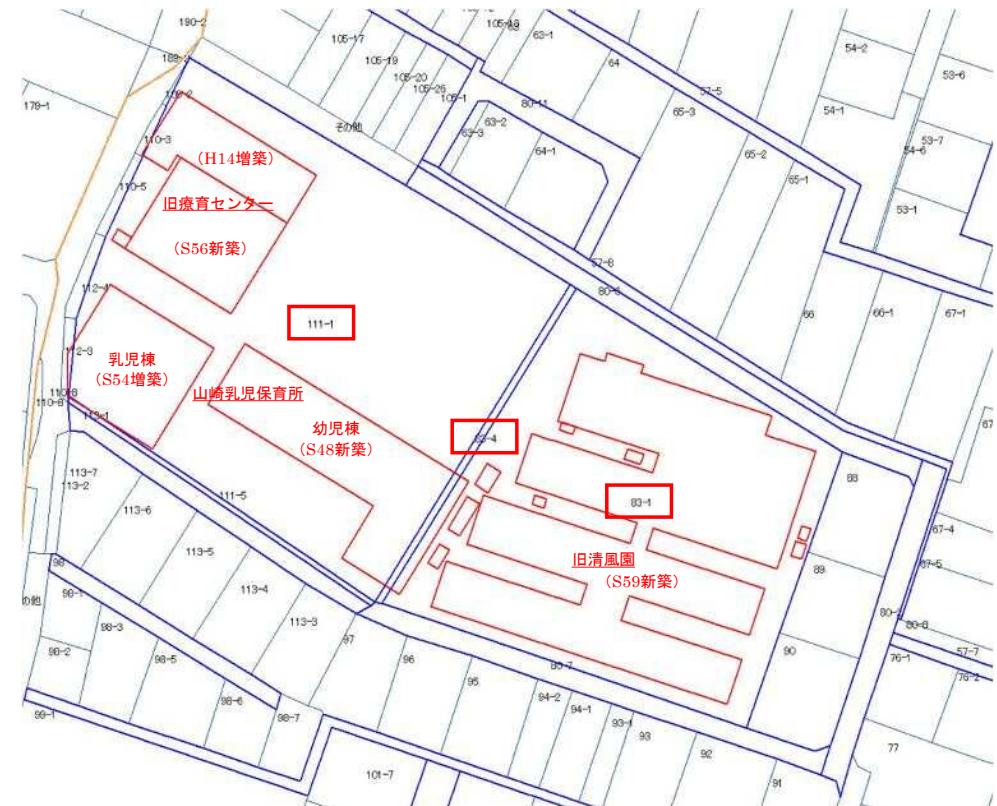
- ・旧清風園及び旧療育センターは、福祉ヴィレッジに事業移管済み。山崎乳児保育所については、運営が令和7年度末までとなっており、全ての施設の運営が終了となる。
- ・このため、施設の土地・建物の取り扱いについて、検討を始める必要がある。

2. 対象土地・建物

- 対象となる土地及び建物は、表及び図のとおり。

区分	旧清風園	旧療育センター	山崎乳児保育所
土地(3筆)	延べ7,930.57m ² 用途地域:第一種住居地域		
建物	主にRC造 平屋建 延べ1,532.10m ²	RC及び鉄骨造 平屋建 延べ515.64m ²	RC造 平屋建 延べ955.88m ²

※RC造は鉄筋コンクリート造



3. 方向性

- ・当該資産の価値を把握するため、土地の不動産鑑定評価額及び建物の解体費用を求めていく。
⇒令和8年度予算において、不動産鑑定等に要する費用を計上予定
- ・これまでの利用方法を踏まえ、福祉・医療系のサービス提供を優先して、有効活用される可能性について調査を行う。
⇒令和8年度に、有効活用の可能性についてサウンディング調査の実施を計画